



2019年の台風19号の際、調布市では6,000人以上の方が避難所に避難し、多くの家屋が浸水被害に見舞われました。長野県出身の私は長野県の災害ボランティアにも行き、朝晩凍えるような寒さの中、浸水した家屋の泥掻きや洗浄に追われ、泥に浸かった林檎を処分する農家さんの苦境に心が痛みました。

気象庁によれば、地球温暖化によって台風19号の際の総雨量は11%増加したとか。今後、地球温暖化に伴う大気中の水蒸気量の増加により、猛烈な台風や豪雨などの異常気象の頻度も高まり、更なる悲劇を繰り返さない根本的な解決策は、二酸化炭素などの温室効果ガスを出さない社会に移行するしかないそうです。

私は、家族の理解を得ながら生活スタイルを変え、自宅の電気を自然エネルギー由来のものに変え、照明をLEDに変え、マイバッグ・マイボトルを利用し、市内で生産された野菜や有機野菜を優先的に購入し、公共交通機関や自転車を利用するよう努力しています。ひとりの取り組みで減らせる二酸化炭素の量は本当に微々



たるものですが、こうした努力を続けているうちに、同じような問題意識をもって活動されている市民の方々とつながることができました。

小中学生に自然エネルギーの利用や省エネ住宅の環境学習を行っている方や、地域の清掃・緑化・森林保全活動等を行う人々、市内で持続可能な農業と地域づくりを实践する農家の方々、環境活動家のグレタ・トゥーンベリさんに影響を受けてFridays For Future(未来のための金曜日)という運動に参加している学生さんなど、素晴らしい活動をしている調布市民が大勢いらっしゃいます。そのような方々に刺激を受けて、生活スタイルを変える以上の取り組みが必要だと感じて、調布市の環境基本計画改定に向けての市民ワークショップに参加したり、ゼロカーボンシティ宣言を求める陳情を出したりもしました。

これからも四季の美しい調布を未来に残すために、自分に出来ることを続けていきたいと思っています。

調布市民 堀田真弓さん



●木下やすこの会計報告(2020.1.1~2020.12.31)

収入	議員報酬	9,289,500
	利息	8
	収入合計	9,289,508

支出	生活者ネットへの寄付※	4,835,498
	議員への生活引当金	2,800,000
	議員の税金・社会保険料	1,654,010
	支出合計	9,289,508

※生活者ネットの議員は、契約に基づき、議員報酬を生活者ネットワークに寄付しています。寄付は、調査活動や市民への情報提供に活用されます。

●生活者ネットワークの政務活動費内訳(2020.4.1~2021.3.31)

項目	金額	内容
資料購入費	4,200	雑誌購読料
広報費	145,806	市議会通信郵送料
支出合計	150,006	
交付額	150,000	2020年度下半期分は不交付のため上半期分のみ
残額	0	

生活者ネットワークのルールに従い、議員報酬の用途を公開します

●ひとこと提案 いつでも募集中!

生活の中で気づいた課題をお寄せください!

- メール: waku2seikatasha@mpd.biglobe.ne.jp
- 住所: 〒182-0022 調布市国領町 8-1-13
- 電話/FAX: 042(487)3087
- オンラインフォーム ⇒⇒⇒



●今春の議会報告会はオンライン開催

5月16日開催の第13回議会報告会は、感染症拡大防止のため、議会のインターネット配信システムを使ってオンラインで視聴していただく形式で実施します。ご意見・ご要望などは4月30日まで受け付けています。市議会ホームページや市報で詳細をご確認の上、お声をお寄せください!